

きずなの母子手帳

濱野^{はまの} 楓^{かほ}

二〇二〇年八月十四日、私は九才のたん生日をむかえました。朝起きると家族みんなから「おめでとう」と声をかけられとてもうれしかったです。夜には家族でおたん生日パーティーをすることやプレゼントをもらえることに朝からワクワクしていました。

その時お母さんに、

「見せたいものがあるから、こっちに来て。」

とよばれ、何だろうと思いつながら近くに行つて見ると一冊の母子手帳をわたされました。今までも病院で予防接種を受ける時などに何度も見たことがあるのでふしぎに思っていると、

「楓がおなかに来てくれた時から今までの出来事が書かれていますよ。」

と言われました。たしかに中のページをじっくり見たことはありません。おそろのおそろの母子手帳を開くと、私をにんしんしている時と出産してから記録が細かく書いてありました。

＊生後二ヶ月過ぎからうんちは一日一回ペースに。三ヶ月ごろから三、四日に一回の便秘気味。三ヶ月半ば（十二月三日、四日ごろ）一日七、八回げりになる。

と書かれているページを見て思わず私は笑ってしまいました。

「何でこんなにうんちのことばかり書いてあるの？はずかしいよ!!」

とお母さんに言う

「赤ちゃんはうんちの色やにおい、回数で健康状態を知らんだよ。」

とにこにこしながら言われました。

「ふーん。そうなんだ。」

となんとなくはすかしいままページをめくっている

＊八月夏かせ（三十九度三日間）と中耳炎になる。

＊年明けから四度の発熱。こうふんしたり外で遊びつかれると高熱が出てしまう。

と、一才から二才までの一年間毎月一回以上は高熱を出していたことが記録されていました。

「小さいころはしょっちゅう熱を出して病院に連れて行つたよ。ぜん息や中耳炎もくり返して心配したけれど、今日元気に九才をむかえられてとてもうれしいね。母子手帳はお母さんと

楓をつなぐきずなの手帳だよ。」

と言われ、何だかとてもくすぐったい気持ちになりました。私は家族にささえられて成長してきたんだなあととても幸せに

思いました。

来年も再来年もずっと家族みんなですしよにお祝いしたいです。

「楓、生まれて来てくれてありがとう。」

お母さんはだきしめてくれました。

「お母さん、私を産んでくれてありがとう。」

と言いつつ私もギュッとだきつきました。

いつも私のことを思ってくれるお母さんにたくさんのありがとうをつたえたいです。